

別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	令和4年度 第3回 加東市社会教育委員の会議
開催日時	令和5年3月9日(木) 10時00分から11時25分まで
開催場所	加東市社公民館 2階 視聴覚教室
<p>議長の氏名 (神戸 滋和)</p> <p>出席及び欠席委員の氏名</p> <p>○出席 ・神戸 滋和委員長 ・安原 一樹副委員長 ・荒木 勉委員 ・藤尾 桂子委員 ・竹内 守男委員 ・近澤 玉幸委員 ・柿本 美穂委員 ・土肥 昭彦委員 ・堂下 哲子委員</p> <p>○欠席 ・大橋 洋子委員 ・尾崎 高弘委員 ・福井 明委員</p>	
<p>説明のため出席した者の職氏名</p> <p>・教育振興部長 田中 孝明 ・中央図書館 館長 田中 美紀子 ・人権協働課 課長 西山 太 ・生涯学習課 課長 岸本 孝司 ・同 市民スポーツ係 副課長 藤原 武 ・同 滝野公民館 館長 松本 美香 ・同 東条公民館 館長 竹内 喜博</p>	
<p>出席した事務局職員の氏名及びその職名</p> <p>・生涯学習課 副課長 三和田 剛浩 ・同 主査 福島 奨平</p>	

議題、会議結果、会議の経過及び資料名

開会

1 あいさつ 神戸委員長

2 協議事項

(1) 令和4年度生涯学習事業の取組内容及び評価について

・生涯学習課 ・人権協働課 ・図書館

資料に基づき説明

【質疑応答】

委員… まず1点目、令和3年までやっていなかった伝の助マラソン大会がどうだったのかお聞きしたい。

2点目、社会体育施設が指定管理になると聞いている。やしろ国際学習塾、地域交流センターのような形だと思っているが、それについても話せる範囲でお聞かせ願いたい。

3点目、社高校の甲子園出場について話せる範囲で教えていただきたい。

事務局… 加東伝の助マラソン大会は、3年ぶりの開催ということでどうなるかと思っていたが、大きな混乱もなく開催することができた。コロナ禍というところで、計測タグによる記録処理、WEBによる記録証の発行、受付の簡素化のための事前のナンバーカード送付、来場者のサーモグラフによる体温測定など、工夫を凝らし、開催することができた。人数としては令和元年度は1,547人に対して、今年度は930人と、当初人数を例年2,000人に行っているのを1,500人と予定して開催したこともあり、参加者が少なくなってしまうと思う。ただ工夫を凝らすことによって、混乱なくできるということを感じることができたので、今年の実験を活かして第16回は更に工夫を凝らしてやっていきたいと考えている。

指定管理者制度については、昨年12月25日に第1回の説明会を広域団体に向けて行い、104団体に案内し、42団体、56名の方に参加していただき、指定管理とはどういうものかという内容からご説明をさせていただいた。また、3月19日にも団体、企業団体、体育協会、スポーツ少年団、スポーツクラブ21の団体に対して説明会をする予定である。その際には、今度指定管理を受けるシンコースポーツも同席し、ご返答をさせていただきたいと考えている。基本的には、事前予約、使用料について変わりはない、多少影響が出る場所については、調整をしながら今までと変わらないような形で利用していただけるように考えている。

委員… 確認だが、小学校の体育館やグラウンドは社会教育施設であって体育施設ではないから関係ないということではいか。それと本部が

どこにあるか、スカイピアに置かれるのか、そのあたりは今から決めていくということか。

事務局… スカイピアに各団体の本部は置くような形になる。小学校、中学校の体育館等の管理はしないが、東条第一体育館が改修になるので、そのあたりは広域活動団体の方々にご協力をしていただき、体育館を使っていただくということにもなる。

田中部長… 体育施設の指定管理については、体育施設の日常の維持管理、予約、使用料金の收受も指定管理者が行うことになる。受付場所については、滝野地域は今までどおりスカイピアで、社地域は社公民館に指定管理者が1名来てもらって受付業務をする、東条地域は東条グラウンドの管理棟で、受付業務を行ってもらうことになる。これまでどおりそれぞれの地域で受付できる場所が残るという形になる。学校の体育館やグラウンドについては、学校施設になるので、これまでと同じ多目的使用でもって、学校に利用を申し込んでいただくことになる。

次に社高校については、今日の朝刊の折り込みチラシ、緑色、うぐいす色のチラシを入れさせてもらっているが、チケット等については、加東市の観光協会が中心になってしてくれている。応援チケット、応援バスについては基本的には夏と同じ。今回は場所が変わり、試合日の2日前に観光協会にぎわいプラザでお渡しする予定である。バスの発着場については、社地域は加東バスターミナル、halKのところ、滝野地域はにぎわいプラザ、東条地域は東条ライスセンターとなっている。加東市は社高校の応援事業として補助金を出しているのと観光協会のお手伝いをさせていただくこと、また、直接加東市が実施していることとしては、横断幕を設置している。横断幕は、社地域はステラパークのフェンス、滝野地域は鳴彩橋、東条地域は東条学園のフェンスのところそれぞれ設置させていただいている。

委員… 体育施設について軽微な修理は指定管理者が行うのか。

事務局… 基本協定と年度協定を結ぶのだが、年度協定の中で50万以下の分については指定管理者がすることになっている。

委員… 4月までにできるところはするということか。現状は。

事務局… すでに直せる部分は直しているのが現状である。

委員… 昨日滝野体育センターを使用したけど、中央のネット部分が引っかかるというか動きが悪いと思っていたら「あまり使わないように」という貼紙がしてあったのだが、そういうのも入っているのか。

事務局… 今年度中に直すことで進めている。

委員… それとトイレの床に、すのこのようなものは敷いてあるが、これがボロボロである。急遽このようになったわけではないと思う。こういうのはいつ分かって、いつ直すのか、廃墟のようになっている、

これはなんだと思った。こういうのは、早めに何とかならないのか。1か月ぐらいではこのようにならないと思う。指定管理者だったらパッと見てすぐ直すのか、加東市で直すか分からないが。

事務局… すのこについては、張り替えるのか新しくするのがいいのか悩んではいるところだが、一旦は撤去させていただくことにしている。

委員… 前に水道が凍結して破裂したことがあったが、それも直すのに時間を要したという。少し前のことだが、東条コミセンのタイルが剥がれて段差ができていて危ないということでコーンが置いてあり、それも長いこと1か月ほどそのままになっている。危ないと分かっているのなら業者に頼まないといけないと思う。なぜ、そんなに時間がかかるのか。

事務局… 東条第一体育館については、その時期にこの地区の凍結が多く、業者が間に合わなくなっていたということが原因だった。凍結は漏水等もあり、早く対応したいというところで地元の業者に頼んで手配をしたものの業者が忙しいということも影響し、遅くなってしまった。

委員… 滝野体育センターのトイレは4月には直るのか。

事務局… すのこは、一旦撤去させていただく。

副委員長… 図書館の本について、リクエストに応えるのは当たり前のことだが、図書館でしか見ることができない資料や利用率がいいのは他の市でも有名なのだが、僕からするとはっきり言って図書館に置いてほしいものがない。本屋ですぐ手に入るような本は買わなくてよいと思う。ベストセラーは読みたければ自分で買って読んでくださいといった姿勢でも僕はかまわないと思う。図書館でしか見ることができない資料や図書館で調べものをしたいという、この前も社小学校の子達が調べていて、資料がないということがあった。検索してもないということがわかった。基本的に配架してあるものは古いものが多く、全体を見ても古い。利用率が高いというのはそういうところからするとちょっと信用できないような気がしている。リクエストに応えるというのは大事だが、どういうリクエストに応えるかというのも量的な問題ではなく、質的な問題である。そこは加東市のシステムではなく、社会教育委員と図書館協議会とのリンクというのは残念ながらない。神戸市の図書館協議会は、常にリンクしている。問題点や課題を図書館協議会で整理して図書館の方からあげてやっていく。神戸市は数が多いので、課題がたくさんある。それを集約するのに社会教育委員の会議が非常に機能を果たして、改善的になったので、もう少し有機的な図書館づくりというものをしてほしい。ポップとか見た目は大事なのだが、本質がない。よく図書館に行っているので正直いらないというのがある。見てほしいとかアピールするのは分かるが、それは図書館の本質ではないと僕は思う。滅多に来ない

人が引きつけられて読もうかな、借りようかなというのはゼロではないと思うが。本来の公立図書館の機能とか何をすべきかというのをもうちょっと検討していただければありがたいというのが個人的な僕の視点である。

委員… 今の意見に関連して、あえて反論するような形になるが、図書館の意味を考える時に、生涯教育のスパンで考えると学校教育型と社会教育型の両方に対応しないといけない。今重点でやっておられるのは文字離れが進んでいる。だから学校教育型でできるだけ文字に親しみをもってくれる市民づくり、そここのところにウエイトをおいて展開をされている。今年度の成果を見てもそれが明確に出ている。副委員長がおっしゃるのはリクエストのところで大勢のリクエストはあるのはあるだろう。それから希少価値、本当に掘り起こしたいような文字もあるだろう。要はこれから文字に親しみをもつ市民を増やしていく、その一方で余裕があるのであればリクエストのところで、少し数は少ないが、ずっとリクエストされているものを取り入れてみようか、そんな形で動かしていくのもひとつのやり方かと思う。これはあくまでも社会教育のところにもものすごく重点をおいたら、必ずしも多いから入れるだけじゃなく、やはり市民の存在を考えるとリクエストの割合は少なくとも入れるというようなことがありえる。でも今はどうしても文字離れが加速化しているから、やはり市民がそっち側に偏らないように、文字に引き付けられるように重きをおいて展開しているのが今だと思う。だから、副委員長が一方的におっしゃっているが、ちょっと極論されておると思う。でも今は文字に親しむ市民づくりを進めていただくと、世の中の流れに少し反抗して加東市は頑張っているというところで、成果のところでは非常に安心している。

少し話が飛ぶが、この3つの評価と課題は、点検と評価につながるのか。その資料になるのか。加東市が点検と評価を教育委員会に出すが、それにつながるのか。

事務局… つながるものと考えている。

委員… そういうことであれば、例えば資料18ページの成果のところの3行目。平成30年に何々を実施したところ、10年前から増加していることからこの成果が出ているということが書かれている。令和4年の点検と評価のところでは平成30年、これがミスプリントなのであれば直してもらった方がいいが、平成30年と比較して云々というのが、令和4年度のところの資料で出てくるのであれば、いかがなものかなというのが単純な疑問である。ミスプリントであれば当該年度に直していただければよいが。

事務局… そのように書いた理由については、意識調査を最近取ったものが、平成30年だったということで、それよりも以前に取ったアンケートと比較すると意識が増えているという現状である。その時のデー

委員… タがこれしかなかったため、このように記載したということである。そういうことなら、そのように書いていただきたい。令和4年の評価であるので、最終のところは平成30年で10年前と今年度を比べたらということ。

事務局… 人権協働課で考えている文章なので生涯学習課と調整したうえで考えていきたいと思う。

委員… 図書館のところの表記の仕方を他の課も統一できないか。今回はこれでもよいが、来年度から例えば生涯学習課のところで成果と課題を書いているが、事務局で無理やりまとめているので、具体の資料がない。事業を30、50と重ねてそれをトータルで書くところであったということだと思う。そこは理解したうえで、そうであればこの会議に事業の一つひとつの資料を参考としておきながら、それを全てまとめたらこうなった。促進できた、あるいは何々を進めることができたと書いてもらったらいいが、今のまま資料も何もなく、この一番右のところを読んで、これで課題を考えてくださいというようなことはできるわけがない。成果として何とかができた。できたのに、なんで課題ができるのか。点検と評価にもっていくのであれば、こんなねらいがあったので点検と評価ができた。ただし、ここから先はちょっと無理があった。だから、次年度の課題はこうであるというのが点検と評価の趣旨に合う。今のままで成果でもないし、課題でもないし、何の対応もない。何もしないで机の上で書ける。書いていただいているようにたくさんの事業をしていただいている。事業をやってくださった方々のところで資料として、成果や課題を書いていただいたら間違いなし。反省とかいう形で書いていただければ。それをそれぞれの担当の課のところで集約して書いたらこうなった。それぞれの事業からいただいた資料を別紙資料として添付するという形をとっていただくと、年度がつながっていくことのベースになるだろう。20年前から同じ流れをやっているがなかなか進まない。できるだけ図書館に合わせていただきたい。図書館の流れに合わせてもらって何がやりたいか、そして、ここまでできた、ちょっと不足が残った、だからここを頑張ります。このようにやっていくということが非常に大事ではないかと思う。今は無理な形で来年度の事業を進めようとされている、成果が分からないのに、課題が分かるわけがないと思う。

(2) 令和5年度加東市社会教育委員について

- ・現委員の任期 令和3年4月1日～令和5年3月31日（2年）
- ・次期委員任期 令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年）

口頭で説明

【質疑応答】なし

(3) 令和5年度社会教育関係事業予定(東・北播磨、県、近畿、全国)
資料に基づき説明

【質疑応答】

副委員長… 近畿についてはいいのだが、全国大会の派遣というのはどうなっているのか。毎年予算を取って、何人かに行っていただくというのはないのか。

事務局… 全国については場所が遠いこともあり、予算としては案内するようには取っていない。全国大会が近畿等で行われる際には予算を取り、参加するということを検討してもよいかと思うが、現状はご案内する予定はなく、事務局も出席する予定はない。ただ近畿については、事務局や委員の皆さまにご参加していただけるように予算をとっているため、ご希望等があれば参加できる大会である。

副委員長… 以前から委員をやっていた時に、結構兵庫県内、全国大会に小さな自治体からも毎回ではないが来られている。そういう場で情報交換とかあるいは交流があるので、こういうことは少し考えてもらってもいいのではないかとずっと思っていた。予算の問題があるので委員の方々に案内をしたが、行きたければどうぞというのは、僕は基本的に行かなくてもいいというのと同類じゃないかと思う。やはり派遣されると、過去の経験則でいうと皆さん勉強されて帰られるし、その後のネットワークもつながり、決して無駄ではない。ただお金の絡むことなので、できれば検討していただきたい。

事務局… 令和5年度については近畿の分までしか予算をつけてないため、全国への参加は難しいとは思いますが、次年度については検討したい。

(4) その他 なし

3 その他

・令和5年度第1回会議開催次期 令和5年5月下旬～6月上旬ころ

閉会 安原副委員長

令和5年3月30日